

# 我が国の対アフリカ外交

2010年2月10日 外務省政策会議

外務省アフリカ審議官組織

# 1. アフリカの現状と概観

## (1) 「アフリカ＝希望と機会の大陸」として国際社会の関心の増大

- 豊富な天然資源：未開発の石油・ガス田、稀少鉱物資源の宝庫  
⇒中国等による活発な資源獲得
- 近年の目覚ましい経済成長：過去10年の年平均成長率は5.3%（※99～08年）
- 多くの国で政治的安定実現：90年代に比べ多くの紛争・内戦が収束

## (2) 依然として多くの問題にも直面

- 貧困問題：全人口の半数以上が絶対貧困（1日\$1.25未満）
- 世界金融・経済危機の影響を受け成長減速（09年成長1.9%）  
⇒ミレニアム開発目標の達成益々困難に
- 紛争・海賊問題：スーダン、ソマリア、コンゴ東部等  
（国連PKOミッション16中7ミッションが展開）  
ソマリアは海賊・テロの温床に
- その他：感染症、難民、気候変動等

## (3) 我が国にとっての重要性

- 国際社会の直面する課題の克服への貢献  
－我が国外交に対する国際社会の信頼・尊敬の獲得
- 我が国の外交基盤の強化（アフリカ53カ国は世界の4分の1を占める大票田）  
－気候変動、安保理改革、国際機関選挙等への支持獲得にはアフリカの協力は不可欠
- アフリカとの経済関係の促進  
－アフリカの天然資源（特にレアメタル）は、我が国の資源安定確保に重要  
－急激に成長しつつある市場（アフリカ全体で人口約10億人）

## 2. 我が国の対アフリカ外交の基本方針

### 1. アフリカの開発・成長に対する支援

- TICAD IVの約束通り、2012年までの対アフリカODA倍増を実行する。
- また、日本とアフリカの貿易投資関係の強化のため、民間企業とも密接に連携し積極的に支援していく考え。

### 2. アフリカの平和と安定に対する貢献

- スーダン、ソマリア等の紛争解決のためにこれまで以上の貢献を行う。
- 平和を定着させていく取組に、PKOも含め役割を果たしていく。

## 【参考】我が国の対アフリカ外交の基本方針

【参考①】第64回国連総会における鳩山総理大臣一般討論演説(2009年9月24日、抜粋)

「アフリカ開発会議(TICAD)のプロセスを継続・強化するとともに、ミレニアム開発目標(MDGs)の達成と人間の安全保障の推進に向け、努力を倍加したいと考えます。」

【参考②】TAC(東京アフリカン・クラブ)における岡田大臣挨拶(2009年10月26日、抜粋)

「我が国の対アフリカ外交の2つの基本方針を申し上げます。

第1は、アフリカの開発・成長に対する支援であります。先般、鳩山総理は、国連総会において、TICADのプロセスを継続・強化することを明確に述べました。鳩山政権は、2012年までのアフリカ向けODA倍増、民間投資倍増支援等のTICAD IVの約束を必ず実行します。ODAの実施にあたっては、MDGs達成と人間の安全保障のみならず、成長の加速化、平和の定着とグッド・ガバナンス、環境・気候変動問題への対処も重視することに変更はありません。また、日本とアフリカの貿易・投資関係の強化のために政府として民間企業とも密接に連携しつつ積極的に側面支援していく考えです。

(中略)

第2は、アフリカの平和と安定に対する貢献です。

平和と安定なしに開発・成長は実現できません。鳩山政権は、平和を構築し、定着させていく取組に、PKOも含め、きちんとした役割を果たしていきます。PKOについては、より積極的に関与するためにPKO法改正を含めた検討を進めることを先般明らかにしました。そして、スーダン、ソマリア等の紛争の解決のためにこれまで以上の貢献を行う考えです。また、そのためにアフリカ連合との協力も強化していく考えです。」